

とき 2025年4月23日(水) ①10:00~12:05

②13:30~15:35

開場は各回30分前

\* 上映時間 113分

ところ 米子コンベンションセンター 小ホール (米子市末広町 294)

山陰映画センターの  
ウィークデーシネマ

言葉を信じて

劇場版

# アナウンサーたちの戦争

言葉に絶望した。

二〇二五年三月でラジオ放送開始から百年。そして、今年には戦後八十年。戦時、プロの矜持と国策との間で苦悩したアナウンサーたちの実話を通し、大切なことを伝えます。

森田 剛

橋本 愛 高良健吾 安田 顕

浜野謙太 大東駿介 水上恒司 藤原さくら 中島 歩 渋谷清彦

眞島秀和 降谷建志 古館寛治 小日向文世

脚本 倉光泰子 音楽 堤裕介

制作統括:新延明 プロデューサー:城谷厚司 林啓史 撮影:佐々木達之介 照明:水村孝志 美術:山口類児  
取材:網秀一郎 大久保圭祐 録音:高山幹久 音響効果:最上 淳 編集:松本哲夫 映像技術:齋藤佑樹 VEX:高崎太介  
美術ディレクター:川村裕一 衣装:竹林正人 ヘアメイク:山田容子 装飾:三代川昭彦 持ち道具:小澤友香  
制作担当:蓮見昌寿 助監督:長尾 実 脚本協力:山下澄人 演出:一木正恵  
テレビ版制作著作:NHK 製作協力:NHKエンタープライズ 製作・配給:NAKACHIKA PICTURES  
2023年/日本/113分/カラー/ビスタサイズ/5.1ch

thevoices-at-war-movie.com

✕ @voice\_is\_at\_war







\* 寒暖調整のできる服装でのご来場にご協力ください。

先着順ご入場 自由席

# 報道は“真実”ではなかった。 今の時代にこそ伝えたい、 アナウンサーたちの 苦悩と葛藤の実話が映画化

太平洋戦争では、日本軍の戦いをもう一つの戦いが支えていた。ラジオ放送による「電波戦」。ナチスのプロパガンダ戦に倣い「声の力」で戦意高揚・国威発揚を図り、偽情報で敵を混乱させた。そしてそれを行っていたのは日本放送協会とそのアナウンサーたち。戦時中の彼らの活動を、事実を基に映像化して放送と戦争の知られざる関わりを描く。

国民にとって太平洋戦争はラジオの開戦ニュースで始まり玉音放送で終わった。奇しくも両方に関わったのが天才と呼ばれた和田信賢アナ(森田剛)と新進気鋭の館野守男アナ(高良健吾)。1941年12月8日、大本営からの開戦の第一報を和田が受け、それを館野が力強く読み、国民を熱狂させた。以後、和田も館野も緒戦の勝利を力強く伝え続け国民の戦意を高揚させた。同僚アナたちは南方占領地に開設した放送局に次々と赴任し、現地の日本化を進めた。和田の恩人・米良忠鷹(安田顕)も「電波戦士」として前線のマニラ放送局に派遣される。一方、新人女性アナウンサー



の実枝子(橋本愛)は、雄々しい放送を求める軍や情報局の圧力で活躍の場を奪われる。やがて戦況悪化の中、大本営発表を疑問視し始めた和田と「国家の宣伝者」を自認する館野は伝え方をめぐって激しく衝突する。原稿を読む無力さに苦悩する和田。妻となった実枝子はそんな和田を叱咤し、自ら取材した言葉にこそ魂は宿ると激励する。しかし和田は任された学徒出陣実況をやり遂げようと取材を深めるもその罪深さに葛藤するのだった。そして館野もインパール作戦の最前線に派遣され戦争の現実を自ら知る事になる。戦争末期マニラでは最後の放送を終えた米良に米軍機が迫る。そして戦争終結に向けて動き出した和田たちにも…。

戦争を語る人がますます少なくなっている現代、本作を通してまた新しいアプローチの考察と共感、そして感動を呼び起こし、決して風化させてはいけない戦争の事実を目に向けてほしいと願い、映画化の運びとなった本作。先人の苦悩は、現代を生きる私たちにとって学びになっているのか。政治・経済・社会状況、そしてエンターテインメントにおいても、なお連綿と受け継がれる「不都合な真実の隠蔽」と「不条理な大衆扇動」がまたそこにはある。本作が映画化となり、戦時中における放送と戦争の知られざる関わりを通して、そこに関与する人間たちの苦悩を私たちは突き付けられるだろう。



2025年  
4/23(水)

入場料

©2023 NHK

【前売】一般 1500円 障がい者・小中高生 1200円  
(障がい者の介助者1名無料・未就学児 無料)  
【当日】一般 1700円 障がい者・小中高生 1400円

前売券販売:

米子コンパシオンセンター  
総合受付  
販売時間9時~18時  
(4/21まで \*休館日除く)

\*お問合せ・ご予約: 山陰映画センター

\*TEL (0852)25-5713/090-2003-6623

\*FAX (0852)24-1916

\*Eメール sanincinema1968@gmail.com



左記QRコードでメール  
送信画面が出ます。

◆前売券のご予約も承ります。

問合先まで、お名前・電話番号・タイトル・会場名・券種・ご来場の回・人数をお知らせください(※切 4/18)